

感染症定期報告感染症別文献一覧表 (2019/8/1～2019/11/30)

令和2年3月6日  
令和元年度第3回  
医薬品等安全対策部会  
資料 4-1

ID	感染症(PT)	出典	概要
1	C型肝炎	J Matern Fetal Neonatal Med. 32(2019)3464-3469	イラクのBaghdadにおいて、抗Dグロブリン投与歴のある女性の抗C型肝炎ウイルス(HCV)抗体、HCV-RNAの陽性率調査及び遺伝子型の同定を目的とし、横断研究を実施した結果、投与歴のない女性と比較して、抗Dグロブリン投与歴のある女性では、抗HCV抗体の血清陽性率が有意に高く、また、HCV-RNA陽性のリスクが3.6倍高いことが明らかとなった。
2	インフルエンザ	CDC ホームページ. <a href="https://www.cdc.gov/flu/outbreak-investigations.html">https://www.cdc.gov/flu/outbreak-investigations.html</a>	2012年7月～9月、米国10州におけるインフルエンザA(H3N2)変異型ウイルス(IVA(H3N2)v)のアウトブレイクにより、ブタを展示した農産物品評会の出席者において、309例の感染が報告された。2016年8月、米国ミンガン州の農産物品評会においてブタを展示した小児1例で確認されたIVA(H3N2)v感染も、米国疾病予防管理センター(CDC)の疫学調査につながった。
3	インフルエンザ	ProMED-mail 20190728.6592926	米国のミシガン州農業農村開発局は、Fowlervilleのファミリーフェアで、ブタインフルエンザ検査陽性を示したブタを複数特定した。感染した全てのブタは会場から搬出され、ヒトの感染例は報告されていない。
4	インフルエンザ	WHOホームページ. <a href="https://www.who.int/influenza/human_animal_interface/Influenza_Summary_IRA_HA_interface_12_02_2019.pdf?ua=1">https://www.who.int/influenza/human_animal_interface/Influenza_Summary_IRA_HA_interface_12_02_2019.pdf?ua=1</a>	2019年2月1日、オーストラリアのIHR National Focal Pointは、IVA(H3N2)vに感染したヒトの症例1例を報告した。15歳の女兒が9月5日に軽度の疾患を発現し、発症から8日後のサンプルについてウイルスの遺伝子分析を行ったところ、全ての遺伝子が、過去10年間にオーストラリアのブタにおいて広まり、検出されていたウイルスの遺伝子と類似していたことが示された。本症例は発症の前日に農業のイベントに参加し、学校及び家において動物に接触していたことが判明している。
5	鳥インフルエンザ	WHO ホームページ. <a href="https://www.who.int/influenza/human_animal_interface/Influenza_Summary_IRA_HA_interface_10_05_2019.pdf?ua=1">https://www.who.int/influenza/human_animal_interface/Influenza_Summary_IRA_HA_interface_10_05_2019.pdf?ua=1</a>	ネパールにおいてインフルエンザA(H5N1)ウイルス(IVA(H5N1))の最初のヒト感染例が報告された。症例は、Kathmandu在住の19歳男性で、2019年3月17日に発病、3月23日に入院した。3月25日に抗ウイルス薬の治療が開始されたが、3月29日に死亡した。患者由来検体中にIVA(H5N1)が検出された。患者の本ウイルスへの感染源として、最も可能性が高かったのは家禽市場であった。患者との接触者に症状発現例は確認されなかった。
6	ウエストナイルウイルス感染	COMMUNICABLE DISEASE THREATS REPORT. 37(2019)4-6	スロバキアにおいて最初のウエストナイルウイルス(WNV)のヒト感染1例が報告された。
7	ウエストナイルウイルス感染	Daily sun. <a href="https://www.daily-sun.com/home/printsnews/426450">https://www.daily-sun.com/home/printsnews/426450</a> .	バングラデシュにおいて最初のWNVのヒト感染1例が報告された。
8	日本脳炎B型	ProMED-mail 20190519.6476397	台湾衛生福利部疾病管制署(台湾CDC)は、2019年5月17日にKaohsiungの60歳代の男性を2019年で最初の日本脳炎症例と確定した。男性は、5月1日に症状を呈し、日本脳炎の疑いがあるとして報告され、5月5日に治療のため別の病院に搬送された。検査結果により5月17日に日本脳炎の感染が確定した。以降、男性は昏睡状態となり、集中治療室で治療を受けていると台湾CDCは述べた。
9	日本脳炎B型	ProMED-mail 20190717.6571984	2019年7月16日、マレーシア サバ州の農業及び食品産業大臣が、州都Kota Kinabaluから約100kmのTambunanで日本脳炎ウイルスが検出されたと述べた。同大臣は、サバ州の保健所が7月11日にTambunanのKampung Lubangにあるブタ農場において本ウイルスを検出したと述べた。同大臣は、獣医局から、保健所がTambunanでヒトと推定される日本脳炎症例1例を確認したとの内部通達を受け、本件を確認した。6月にサラワク州の保健所が、同州における5例の日本脳炎症例を確認し、注意喚起を行っていた。
10	ウイルス性脳炎	International Journal of Infectious Diseases. 87(2019)92-99	中国において、仮性狂犬病ウイルス感染により脳炎が発現した症例が報告された。報告された5例は全員がブタや豚肉を扱う仕事に就いており、うち4例は職場で手を負傷していた。患者は全員、ヒト免疫グロブリン、糖質コルチコイド、抗ウイルス薬、対症療法を受け、退院まで生存していたが、視力低下等の様々な後遺症を生じた。

ID	感染症(PT)	出典	概要
11	ウイルス性脳炎	PHE Emerging infections: monthly summaries. <a href="https://assets.publishing.service.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/808349/Emerging_infections_summary_May_2019.pdf">https://assets.publishing.service.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/808349/Emerging_infections_summary_May_2019.pdf</a>	ニパウイルス脳炎の致死率及びリスク因子に関する20件の研究における1961例の症例についての系統的レビュー及びメタ解析の結果、プールされた症例において、致死率が61%であることが確認された。また、ニパウイルス感染はブタへの接触と有意に関連していた。
12	エボラ出血熱	Lancet Infect Dis. 19(2019)641-647	コンゴ民主共和国において、2018年に発生したエボラ出血熱のアウトブレイクより、血液サンプル、唾液サンプルを採取し分析した。その結果、当該アウトブレイクの原因ウイルスは新規のエボラウイルス株であったことが確認され、「Tumba」と命名された。
13	エボラ出血熱	PHE ホームページ. <a href="https://assets.publishing.service.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/815725/Emerging_infections_summary_June_2019.pdf">https://assets.publishing.service.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/815725/Emerging_infections_summary_June_2019.pdf</a>	コンゴ民主共和国におけるエボラ出血熱の流行は、11か月以上中程度の強さで続いている。2019年7月1日現在、北キヴ州とイトゥリ州にまたがる23の保健区域で2260例が確認され、94例が推定されている。
14	エボラ出血熱	WHO ホームページ. <a href="https://www.who.int/news-room/detail/17-07-2019-ebola-outbreak-in-the-democratic-republic-of-the-congo-declared-a-public-health-emergency-of-international-concern">https://www.who.int/news-room/detail/17-07-2019-ebola-outbreak-in-the-democratic-republic-of-the-congo-declared-a-public-health-emergency-of-international-concern</a>	WHOは、コンゴ民主共和国におけるエボラ出血熱の流行を国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態 (PHEIC) と宣言した。
15	コンゴ・クリミア出血熱	ProMED-mail 20190402.6399104	致命的なコンゴ・クリミア出血熱 (CCHF) により、2019年4月1日にパキスタンのJinnah大学院医療センターにおいて、シンド州Sehwan Shareef出身の19歳の若者が死亡した。2019年のCCHFによる死者は3例となった。
16	灰白髄炎	ProMED-mail 20190321.6379811	パキスタンのKhyber tribal district及びKarachiにおいて2例のポリオの新規症例が発生し、2019年の合計症例数は6例となった。
17	灰白髄炎	ProMED-mail 20190405.6405314	アフガニスタンのウルーズガーン州Shahid-e-Hassas地区において、野生型ポリオウイルス1型 (WPV1) の1例が報告された。麻痺の発症日は2019年2月25日であった。アフガニスタンにおいて2019年に報告されたWPV1症例は3例となった。
18	エプスタイン・バーウイルス検査	Proteomics Clin. Appl. 13(2019)1800067	エプスタイン・バーウイルスの血清学的スクリーニングのためのタンパク質バイオチップが開発された。バイオチップはジスルフィド基-ポリエチレングリコール-カルボキシ基の自己組織化単分子膜で修飾されている。
19	重症熱性血小板減少症候群	感染症学雑誌. 93(2019)362	精液からウイルスが検出された重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 患者のケースレポート。50歳男性、SFTSが疑われ、入院日の血清SFTSウイルスRNAが $2.08 \times 10^8$ /mLと陽性であり確定診断となった。血清のウイルス量測定を経時的に行ったところ、入院3日後にウイルス量がピークアウト、25日後に陰性化を確認した。血液中ウイルス陰性化を確認した入院25日後に精液検体を採取しウイルス量を測定したところ、 $2.4 \times 10^5$ /mLと陽性であった。入院39日後に精液中のウイルス陰性化を確認し退院となった。
20	重症熱性血小板減少症候群	第93回日本感染症学会総会・学術講演会 (2019/4/4-4/6)O2-103	精液からウイルスが検出されたSFTS患者のケースレポート。50歳男性、SFTSが疑われ、入院日の血清SFTSウイルスRNAが $2.08 \times 10^8$ /mLと陽性であり確定診断となった。血清のウイルス量測定を経時的に行ったところ、入院3日後にウイルス量がピークアウト、25日後に陰性化を確認した。血液中ウイルス陰性化を確認した入院25日後に精液検体を採取しウイルス量を測定したところ、 $2.4 \times 10^5$ /mLと陽性であった。入院39日後に精液中のウイルス陰性化を確認し退院となった。

ID	感染症(PT)	出典	概要
21	重症熱性血小板減少症候群	衛生動物. 70(2019)37	日本において野生動物及びマダニから、SFTSウイルスやダニ媒介性脳炎(TBE)ウイルス以外のマダニ媒介性ウイルスが複数検出された。また、マダニ媒介性ウイルスが野生動物によって一定の地域で維持・拡散されているのに加えて、遠隔地への拡散には渡り鳥が一つの役割を担っている可能性が示唆された。これらウイルスに関して、ヒトや動物における病原性や詳細な感染経路は明らかになっておらず、今後さらなる調査が必要であると考えられる。
22	ダニ媒介熱	ProMED-mail 20190530.6493915	2017年、中国におけるダニ媒介性疾患のサーベイランスにより、原因不明の熱性疾患で内モンゴルの病院を受診した患者1例が同定された。臨床症状はTBEウイルス感染症の臨床症状と類似していたが、TBEウイルスRNAも抗ウイルス抗体も検出されなかった。初発患者から血液検体を採取し、ゲノム配列解析と電子顕微鏡法を用いて原因病原体の分離・同定を試みたところ、初発患者は未知の分節RNAウイルスに感染していたことが明らかになった。当該ウイルスはフラビウイルス科jingmenvirus属に属し、Alongshanウイルス(ALSV)と命名された。
23	パラポックスウイルス感染	J Vet Med Sci. 81(2019)440-443	日本において、口腔内の臨床徴候があるウシだけではなく、口腔内の臨床徴候がないウシ及び環境試料からもパラポックスウイルスが検出された。
24	ヒツジ驚口瘡	Comp Immunol Microbiol Infect Dis. 65(2019)1-6	ヒツジ驚口瘡ウイルス(ORFV)は主にヒツジとヤギに影響する伝染性皮肤病患の原因となり人畜共通感染ポテンシャルがあるが、ウシにおける感染の報告はほとんどない。2017年6～8月に、トルコの3つの州における調査でウシのORFV感染アウトブレイクが認められた。
25	ラッサ熱	Euro Surveill. 24:20(2019)pii=1900272	ナイジェリアにおいて、2016年以降ラッサ熱の感染者数が増加しており、2018年には過去最多の633例が報告された。2019年に入り症例数が急増していることから、同年1月22日、ナイジェリア疾病予防センターは公衆衛生上の緊急事態を宣言した。2019年1月1日から4月28日までにナイジェリアの21州から554例(死亡例124例を含む)が報告され、2018年の同期を上回った。
26	ウイルス感染	Cancer. 124(2018)1342-1349	ヒトの乳房組織においてウシ白血病ウイルス(BLV)のDNAが同定されており、BLVがヒトに感染することが示唆されている。
27	ウイルス感染	Euro Surveill. 24:27(2019)pii=1900394	新たに同定されたダニ媒介性ALSVは、最近中国においてヒト疾患に関連があるとされているが、フィンランド南東部において、ダニからALSV RNAが検出された。
28	プリオン病	Brain Pathol. 28(2018)999-1011	細繊維性及び原繊維性のプリオン株をマウスに静脈内投与することにより、プリオンの構造がどのように脳への浸潤能に影響するかを調査した。線繊維性のプリオン株が脾臓で複製された後、異なる株として脳に出現した。プリオンに汚染された血液や血液製剤の使用により、構造の選別や非神経組織でのプリオンの複製が起こり、新規の神経侵襲性プリオン株の生成、新たな病態が見られる可能性があることが示された。
29	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE Weekly Disease Information. 2019/05/31	2019年5月31日、ブラジル政府はマットグロッソ州でウシ1頭(17歳齢)において非定型BSEが確認されたことを報告した。
30	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail 20190602.6499721	2019年5月31日、ブラジル政府はマットグロッソ州でウシ1頭(17歳齢)において非定型BSEが確認されたことを報告した。
31	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail 20190603.6500846	2019年5月31日、ブラジル政府はマットグロッソ州でウシ1頭(17歳齢)において非定型BSEが確認されたことを報告した。
32	レンサ球菌感染	Outbreak News Today. <a href="http://outbreaknewstoday.com/thailand-reports-two-dozen-streptococcus-suis-deaths-to-date-82560/">http://outbreaknewstoday.com/thailand-reports-two-dozen-streptococcus-suis-deaths-to-date-82560/</a>	タイにおいて、ブタ連鎖球菌感染の症例が報告された。2019年8月17日現在、23例の死亡を含む265例が報告されている。ブタ連鎖球菌感染は生の豚肉や生血を用いた料理を食べること、適切な保護をすることなくブタと密接に接触することにより発生するとされている。
33	レンサ球菌感染	Outbreak News Today. <a href="http://outbreaknewstoday.com/streptococcus-suis-infections-thailand-10-deaths-first-three-months-95460/">http://outbreaknewstoday.com/streptococcus-suis-infections-thailand-10-deaths-first-three-months-95460/</a>	タイ保健省の疾病管理局は、ブタ連鎖球菌感染症の危険性と調理が不十分なブタ肉を食べることについて警告している。2019年の最初の3ヶ月間に、保健当局は10例の死者を含む50例のブタ連鎖球菌感染症の報告を受けた。

ID	感染症(PT)	出典	概要
34	レンサ球菌感染	ProMED-mail 20190422.6433945	タイ保健省の疾病管理局は、ブタ連鎖球菌感染症の危険性と調理が不十分なブタ肉を食べることについて警告している。2019年の最初の3ヶ月間に、保健当局は10例の死者を含む50例のブタ連鎖球菌感染症の報告を受けた。
35	レンサ球菌感染	感染症学雑誌. 93(2019)275	日本では、イヌやネコ等の伴侶動物とともに生活される家庭は多く、一部の病院や高齢者の介護施設ではメンタルサポートを目的として大型犬による動物介在療法が導入されている。ヒトと伴侶動物との距離が非常に近くなっており、病原性細菌の往来が心配される。また、ブタ、ウシ、ニワトリ等の食用動物との濃厚接触や肉の摂取を介した病原菌のヒト感染も懸念される。このような背景の下、日本における動物由来レンサ球菌感染症の現状と課題について提示された。
36	レンサ球菌感染	日本獣医師会雑誌. 72(2019)533-538	広島県内の一養豚農場で死産及び神経症状を呈する産子が散発した。2頭の剖検では心臓に線維素析出を認め、組織学的にはグラム陽性球菌を伴う化膿性髄膜炎及び線維素化膿性心外膜炎を認めた。主要臓器からはブタ連鎖球菌血清型14型が分離され、脳、脊髄及び心臓の病変部にみられたグラム陽性球菌はブタ連鎖球菌血清型14型に対する特異的抗体に陽性反応を示した。分離菌株はすべてパルスフィールドゲル電気泳動で同一パターンを示し、Multi Locus Sequence TypingではSequence Type1 (ST1)に型別されたことから、本症例を同一クローン由来のブタ連鎖球菌血清型14型ST1株によるブタ連鎖球菌症と診断した。
37	大腸菌感染	日本獣医師会雑誌. 72(2019)307-308	日本のと畜場に搬入された健康なブタを対象に <i>Escherichia albertii</i> の分離を試み、得られた分離菌の生化学的及び遺伝学的性状、薬剤感受性並びに分子疫学的特徴について検討した。
38	発疹チフス	Pediatr Infect Dis J. 37(2018)1071-1076.	米国テキサス州南部の病院で、1998年1月から2016年9月の間にマウスチフスと診断された子供213例が呈した一般的な症状(発熱、食欲減退、倦怠感、頭痛等)や臨床検査所見(C反応性蛋白増加、低アルブミン血症、赤血球沈降速度増加、トランスアミンアーゼ増加、桿状核球数増加等)が述べられている。また、ドキシサイクリンによる治療を早期に行う方が、より入院期間が短くなることについて述べられている。
39	カンピロバクター感染	Transbound Emerg Dis. 66(2019)1481-1492	2015年に新しいカンピロバクターが英国の斑状肝疾患の産卵鶏から分離された。2016年にはオーストラリアの産卵鶏からも分離され、 <i>Campylobacter hepaticus</i> ( <i>C. hepaticus</i> )と命名された。米国の産卵鶏からも分離されている。全ゲノムシーケンスで、 <i>C. hepaticus</i> は人畜共通感染性を有する <i>Campylobacter coli</i> 及び <i>Campylobacter jejuni</i> と最も近縁であることが示された。
40	クレブシエラ感染	International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology. 69(2019)333-336	2017年に中国のヒト尿サンプルより得られた、 <i>Klebsiella</i> 属の菌種株であるWCHKI090001は、新しい <i>Klebsiella</i> 属の菌種であることが示され、候補名称として <i>Klebsiellahuaxiensis</i> sp. nov.が提案された。
41	クロストリジウム・ディフィシレ感染	第68回日本感染症学会東日本地方会学術集会、第66回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会 (2019.10.16,17,18)S16-4	日本の動物におけるクロストリジウム・ディフィシレ( <i>C. difficile</i> )の保有状況と <i>C. difficile</i> による感染症の関係を明らかにすることを目的とし、調査が行われた。出荷直前のブタの糞便250検体のうち2検体、出荷前のブタに比べて分離率が高いことが予想される子ブタ糞便120検体のうち69検体、ブタ農場の完熟堆肥14検体のうち5検体から <i>C. difficile</i> が分離された。また、日本のイヌ糞便204検体について <i>C. difficile</i> 保有状況を調べたところ62検体が陽性を示した。
42	細菌感染	BMC Infectious Diseases. 18(2018)1-8	中国において、 <i>Helcococcus ovis</i> による初めてのヒト感染例1例が確認された。
43	マラリア	Trop Med Health. 46(2018)45	セネガル南東部、ケドゥグ州の児童における無症候性の三日熱マラリア原虫感染について調査した。Duffy抗原陰性の児童48例から採集した192検体のうちマラリア原虫陽性であった検体は74検体であり、うち15検体が三日熱マラリア原虫陽性であった。